

浅川の橋めぐり



▲ はぎわらばし じょうりゅう のぞ
萩原橋より上流を望む

浅川は数多い多摩川の支流の一つで、日野市百草で多摩川に合流しています。全長約 30.4 キロメートルのうち、その流域のほぼ3分の2が八王子市域です。その浅川にはどんな橋があり、どんな歴史があるのか、下流から調べてみましょう。

※小学生から質問が多く寄せられる橋を掲載しているため、浅川にかかる全ての橋ではありません。(市外の橋や北浅川、南浅川の橋は含まれていません。)

ながぬまばし

長沼橋

日野市と八王子市長沼町を結び、浅川と湯殿川との合流点に架かる橋。昭和29年（1954）木造の橋が架けられ、平成5年（1993）、現在のコンクリート橋に変わりました。長さ143.5m、幅12.0m。

しんあさかわばし

新浅川橋（八王子バイパス）

大和田町と北野町を結び、国道16号バイパスの橋。昭和60年（1985）架けられました。長さ190.7m、幅16.0m。

大和田橋

大和田町と明神町を結び甲州街道が浅川を渡る橋。江戸時代、浅川は夏は飛石伝いに歩いて渡り、冬は板橋を仮設して渡ったといひます。明治38年（1905）に木造の橋が架けられ、昭和2年（1927）に八王子で最初の鉄筋コンクリート橋になりました。さらに昭和16年（1941）、35年（1960）に改修。長さ121.1m、幅12.0m。



▲ 焼夷弾の跡

上下歩道各1箇所は、透明板で覆い、他15箇所は、色タイルでその位置を示しています。

大和田橋には、昭和20年（1945）8月2日米軍の八王子空襲を受けたとき、大和田橋の下に駆け込んできた多数の人々を焼夷弾から守った歴史があります。その焼夷弾の跡は、平成9年（1997）永久に保存されることになりました。

浅川大橋

大和田町と元横山町を結び、JR八王子駅北口から北方に向かう中央通りが渡る橋。昭和48年（1973）、大和田橋、暁橋の2橋の間に浅川大橋が架けられたことにより、交通の緩和に役立ちました。以来バス路線も開設され、大和田町側には八王子郵便局が旭町より移転しました。長さ153.6m、幅18.7m。

暁橋

暁町と元横山町とを結び、大正12年（1923）に木造の橋が架けられました。元横山町の橋の袂に「暁橋架設費寄附芳名碑」「暁橋の碑」が建っています。浅川をはさむ住民の熱意が実って完成された橋で、地域の発展に大きく貢献しました。昭和35年（1960）コンクリート橋に架け替えられました。長さ122.6m、幅6.0m。

あさかわばし 浅川橋

なかのかみちよう おおよこちよう むす
中野上町と大横町を結び、国道16号線が浅川を渡る橋。明治中頃まで橋らしい橋もなく、板橋をかけて通行していました。明治34年(1901)木造の橋が架けられました。昭和5年(1930)鋼工桁橋に架け替えられ、昭和38年(1963)、現在のコンクリート橋になりました。長さ117.0m、幅24.0m。

はぎわらばし 萩原橋

なかのかみちよう もとほんごう
中野上町と元本郷町を結び、秋川街道が浅川を渡る橋。明治34年(1901)木造の橋が架けられました。大正12年(1923)、昭和6年(1931)と架け替えられ、平成2年(1990)現在の橋になりました。現在の橋の親柱やガス灯のような照明に、この橋が生まれた明治の時代を感じさせます。



▲ 現在の萩原橋

また、橋が丸みのある太鼓橋になっているのも特徴です。これは、河川の条件を考え橋脚の数を減らしたために橋桁が高くなり、対岸との整合性を図るためにこの形になったものです。長さ120.0m、幅15.8m

萩原橋の由来

萩原橋の南側に小さな公園があり、この中に明治40年(1907)に建立された記念碑が建っています。明治10年(1877)萩原彦七は小宮村(今の中野上町)に八王子における製糸業の草分けである萩原機械製糸工場を設立しました。橋といえば川原の中に板橋しかなかった当時、私財を投げ打って明治34年(1901)に木造の橋を架けました。功労者である萩原彦七の徳をたたえて「萩原橋」と名付けられたのです。

つるまきばし 鶴巻橋

なかのかみちよう もとほんごう
中野上町と元本郷町とを結ぶコンクリート橋。八王子市役所新庁舎の建設にともない昭和61年(1986)架けられました。八王子の歴史にかかわるテーマのブロンズ像8体が設置されています。橋の名は市民からの公募により名づけられました。鶴巻というのは、この橋の上流、かつての元八王子村にあった字名ですが、この付近も川遊びにちょうど良い場所で「つるまき」と呼ばれ親しまれていました。長さ160.0m、幅14.2m。

調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。

*最初にかいてある数字は、本の背表紙についている分類(ラベル)番号です。

*☆印のついてるものは、特に小学生におすすめのものです。

- ☆ 00-51 **水辺を歩こう多摩川 歩く、遊ぶ、学ぶ 京浜工事事務所 /編 2002年**
多摩川に関する様々なデータが調べやすく、浅川に関する記述もいくつもあり。
- 21-05 **OneTwoえいと(郷土雑誌)はの号 えいと舎/編**
市民によるコミュニティ雑誌、八王子の文化、伝統、人物などが紹介されている。
- 21-20 **八王子中野町わが街 清水正之/著 1983年**
中野町の歴史について書かれた本。萩原橋、浅川橋、暁橋についての記述あり。
- ☆ 21-29 **郷土みてある記 八王子生活文化部 広報課/編 1995年**
小学校の先生が八王子の歴史や関係深い人物、動植物、事柄を小学生にも分かりやすく解説したもの。
- ☆ 21-29 **浅川流域 身近な自然の散策絵図 1993年**
わかりやすい絵地図、散策ポイント付き。裏面に浅川の自然や水質に関する説明つき。
- ☆ 21-46 **みんなの浅川 浅川生きもの研究会 2000年**
浅川の植物、野鳥、魚などの自然について、分かりやすくまとめている。
- ☆ 21-51 **浅川わくわくマップ 1991年**
浅川全体の地図で橋の名前などもあり、見てわかりやすい。

インターネット情報 「浅川写真散歩(浅川フォトウォーク)」

<http://www.asahi-net.or.jp/~qs4c-fkm/>

※四季折々の浅川の自然などを、美しい画像とともに紹介

浅川の橋めぐり

参考文献を所蔵している図書館

※2015年12月現在

表の中の○は貸出もできるもので、△は見たり、コピーしたりできます

タイトル	所蔵図書館					
	中央	生涯	南大沢	川口	北野	みなみ野
水辺を歩こう多摩川	△					
<雑誌>One Two えいと はの号	△					
八王子中野町わが街	△	△	○	△		
郷土みてある記	△	△	△	△		
浅川流域	△					
みんなの浅川	○	○	△	△	△	
浅川わくわくマップ	△	△	△			